

# ぼんぼん

316 トボの果返し



## 大崎短歌会

兼題「彼岸花  
曼殊沙華」

田の畦にもぐらよけにと埋めし球根

秋には美しき花見せくるる

土を割り蓄生れ来る彼岸花

母の強さと優しさに似る

墓地前に列なし咲きし彼岸花

眠れる父母ねぎらうように

彼岸花咲く野の日暮れキツネ出る

幼き頃の遠きあの日よ

雨やみて頬撫でる風柔らかに

彼岸花赤き田圃道

彼岸花友逝きし日の畦畔に

魂呼ぶがに朱く燃えおり

穂園芳江

本後淑子

坂元つる子

実吉安仁

井元かず子

山下海征

朱夏の照り野分の風に晒さるも

曼殊沙華嗚呼許しくるるや

馬場みさ

## 薩摩郷句

兼題「可愛せ」

可愛せ可愛せで 増い続けつ 猫屋敷

(唱) 周囲も迷惑 産ますんな言っ

上村牛歩

笑るもせじ 俺ゆ捕まえた 可愛せ婦警

(唱) にこつでんすれば 煩惱も有つて

西ノ園ひらり

十代同士 飯事んよな 可愛ぞか所帯

(唱) ペアールックで 組板どま無し

諸木小春

可愛せ顔も 皺くちえなつた クラス会

(唱) 憧れちよつた 酔いもけ醒めつ

北村虎王

可愛せ娘ち 寄い付た時きな 足蹴遭つ

(唱) 顔れな似合わん やかまし娘御

藤元鬼瓦

可愛せ声ん 電話い欺つ 火の車

(唱) 家も貯金も 女房ずや逃げつ

遠矢耐多

可愛せも可愛せ 爺爺婆婆ち 兄ん孫

(唱) 甘やかせずさち 兄い叱られつ

満石うらら

少子化い 可愛ぞか双児を 産ん呉れつ

(唱) 感謝状どん 町かい貰ろつ

一見愚楽満

今日も学校 可愛子供ん声い 貰ろ元気

(唱) おはよ頑張れち 畑ん婆様

上窪小絵

可愛せ孫い 遣つた小遣けで ハグされつ

(唱) ハグも金じゃち 気付つもせんじ

長重リリー

可愛せ笑顔で 御礼を言うちよい 遺影ん母

(唱) 朝晩遺影い 慰められつ

諸木美舟